



平成 23 年 5 月 13 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者 取締役社長 山田 豊
(コード番号 6330 東証第一部)
問合せ先責任者 経理部長 脇 謙介
(TEL 047-454-1521)

業績予想と実績の差異および剰余金の配当(期末配当)に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 10 日に公表いたしました業績予想数値と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、平成 23 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1)平成 23 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	5,000	4,500	2,500	13.02
実績値(B)	155,696	6,815	7,012	3,773	19.65
増減額(B-A)	△ 4,304	1,815	2,512	1,273	—
増減率 (%)	△ 2.7	36.3	55.8	50.9	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	173,943	13,070	14,448	7,131	37.12

(2)差異の理由

完成工事高については、一部の案件の進捗率の低下により、43 億円減収の 1,556 億円となったものの、完成工事高の減収効果を大型の最終完成案件の収益改善によってカバーし、その結果、営業利益は前回発表予想値より 18 億円増益の 68 億円となりました。また営業外損益では、営業外の為替ポジションに対する円安効果および受取配当金の増加等の影響もあり、経常利益は、25 億円増益の 70 億円となりました。その結果、税金費用控除後の当期純利益では、12 億円増益の 37 億円となり、前回発表予想(平成 23 年 2 月 10 日付)を上回る業績となりました。

2. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成22年5月13日公表)	前期実績 (平成22年3月期)
基準日	平成23年3月31日	平成23年3月31日	平成22年3月31日
1株当たり配当金	5円00銭	3円00銭	4円50銭
配当金総額	959百万円	—	864百万円
効力発生日	平成23年6月24日	—	平成22年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、業績に応じた利益還元を努めるとともに、今後の事業環境を勘案し、中長期的な視点に立った安定的な配当の実現と、経営基盤の基礎となる内部留保の充実に努めることとしております。当方針に基づき、当期の業績、今後の業績動向等を総合的に勘案し、1株当たり5円とさせていただきたく、平成23年6月23日開催予定の第56期定時株主総会に付議することいたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績 (平成23年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭
前期実績 (平成22年3月期)	2円50銭	4円50銭	7円00銭

以上